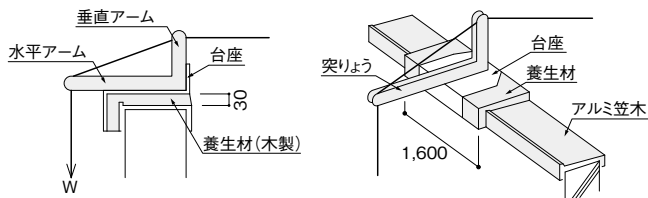


清掃用ゴンドラ使用時のご注意

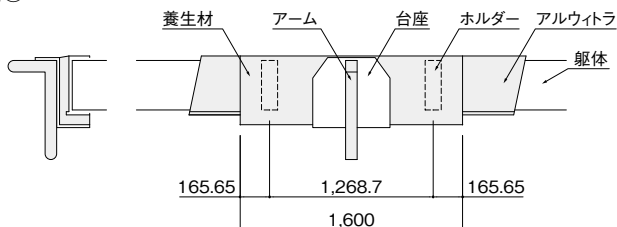
チェア型ゴンドラ作業におけるアルミ笠木の養生

- ①窓・開口部の清掃に使用するチェア型ゴンドラで作業する場合は、図①のようにアルミ笠木を木製台座で養生し、突りょうを設置してください。
- ②養生材の設置は、必ず下地ホルダー材にかかるように設置してください。(図②) (笠木幅により、最大1,268.7mmピッチで施工されます。)

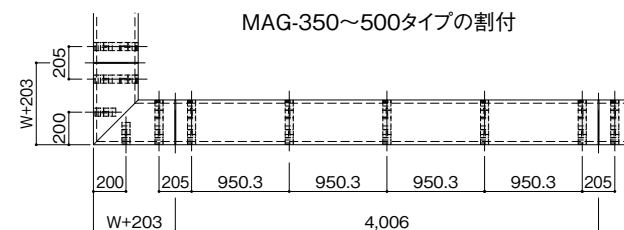
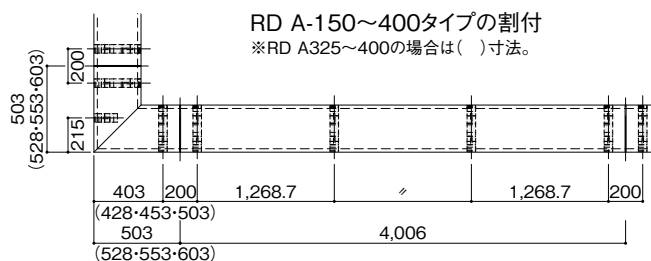
図①



図②



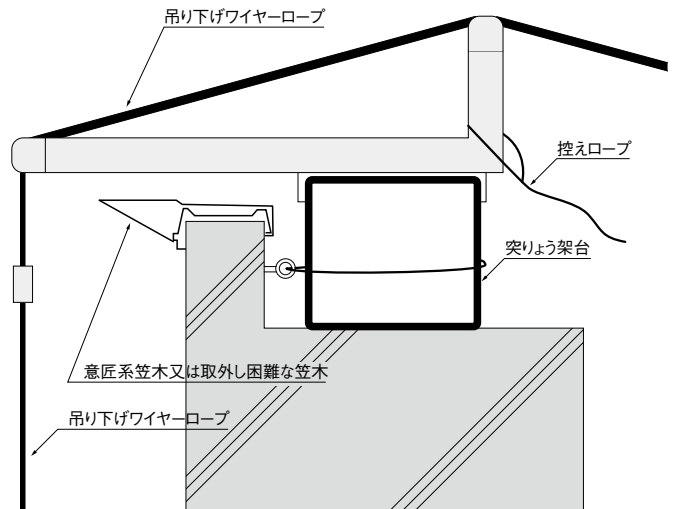
- ③アルウイトラの標準的なホルダー施工ピッチは、下記の通りに行なわれていますが、割り付け上、定尺が使用出来ない笠木ホルダー位置は屋上側よりホルダー箇所を手で確認できます。



- ④ALC板のように圧縮強度の低い外壁材が用いられている場合には、アルミ笠木をあらかじめ撤去した後、作業を行なってください。笠木の取り外しは専門業者にお任せください。

意匠系笠木および取り外し困難な笠木(アーキブレイド、KATANA、デザイン笠木)の場合

意匠性を重視した特殊形状の笠木や、施工後取り外しが困難な笠木にゴンドラ作業が必要な場合は、下図を参照に突りょう架台等を使用し作業できるよう打合せをしてください。



デッキ型ゴンドラ設置の場合

2~3人乗りのデッキ型ゴンドラを使用する場合には、笠木に過度な力が加わらないよう作業部分の笠木を一時撤去して、作業を行なってください。笠木の取り外しは専門業者にお任せください。